

# 平成30年度 <sup>イムス</sup>IMS実習指導者講習会受講生募集要項

- 1. 教育目的:** 看護教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるよう、また、看護師二年課程への通信制の導入に伴い、通信制の特性及び学生の特徴を理解し、教育的配慮ができるように必要な知識・技術を習得させること
- 2. 開催期間:** 平成30年11月1日(木)～平成31年2月14日(木) 37日間(258時間)計16週  
週3～6日間 開講・時間 / 午前9:00～12:15 午後13:15～16:30
- 3. 開催会場:**
  - 1)イムス横浜国際看護専門学校  
〒226-0027 神奈川県横浜市緑区長津田6-20-24 TEL045-988-5531
  - 2)板橋中央看護専門学校  
〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2-6-4 TEL03-3967-0502
  - 3)IMSグループ本部事務局丸の内分室  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービルディング11階 TEL03-5220-5757
- 4. 定員:** 50名
- 5. 受講資格:**
  - 1)原則として看護師等の経験3年以上の者
  - 2)保健師養成所、助産師養成所、看護師養成所又は准看護師養成所の実習施設で実習指導の任にある者
  - 3)将来、実習施設の実習指導者となる予定にある者
  - 4)積極的に研修に取り組む意欲がある者
  - 5)その他、実施主体の認めるところにより、講習会を受けるにふさわしいと認められた者
- 6. 実施主体:** <sup>イムス</sup>IMSグループ
- 7. 講習科目及び時間数:** 別紙のとおり
- 8. 研修費:** 80,000円(税込)  
\* 書籍代、テキスト代は本人負担  
\* お振込み後の返金は一切いたしません。
- 9. 経費:** 研修会開催に要する経費は実施主体でまかなうものとする。
- 10. 修了証書:** 研修会の全課程を修了した者は修了証を交付する。  
ただし、期間中5日以上欠席した場合、修了証書は交付しない。
- 11. 申し込み手続き:** 所定の受講申込書に必要事項を記入の上、申し込み期間内に郵送にて提出
- 12. 提出書類:** ①所属長提出書類(様式-1) ②受講申込書(様式-2) ③小論文『ケアの現場における私のめざす指導者像』
- 13. 決定通知:** 9月下旬までに本人又は所属先の所属長宛に通知する。
- 14. 募集期間:** 平成30年8月1日(水)～平成30年8月31日(金)消印有効
- 15. 申込先:** 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-33-8 NBF 池袋タワー13階  
<sup>イムス</sup>IMSグループ本部事務局 イムス医療従事者生涯教育センター 影山・内藤  
TEL:03-6912-5236(直通) / Fax: 03-6912-5237

厚生労働省承認 平成30年度 IMS<sup>イムス</sup>実習指導者講習会カリキュラム

教育目的:看護教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるよう、また、看護師二年課程への通信制の導入に伴い、通信制の特性及び学生の特徴を理解し、教育的配慮ができるように必要な知識・技術を習得させること

教育目標(実習指導者に期待される能力)

- 1.看護実践モデル:学生が知識と臨床実践を統合できるように指導者として自身の看護における価値や技術及び判断を表現する力を身につける
- 2.患者及び学生の安全:臨地実習場面において、医療の安全確保を図りつつ、学生の技術習得が最大限に行われるように配慮する能力
- 3.関係調整能力:臨地実習が円滑に実施されることを目的に、学生を取り巻く人的環境を調整する能力
- 4.看護倫理:看護について倫理的視点から説明でき、指導者として学生を擁護できる
- 5.EBNの実践:根拠をもった看護が実践でき、実習指導者として学生に自らの判断と根拠を説明できる力を育成する
- 6.学生の理解:臨地実習における学生のレディネスを把握するために、学生が受けている教育を理解し学習サポート能力を身につける
- 7.教育:教育と実習指導に関する一般知識を備え、実習指導者として学生に対する適切な関わりができる
- 8.自己研鑽:専門職として継続学習による能力の維持・開発に努める態度を養う
- 9.応用実践力:学習内容をふまえた上で実習場面における効果的な指導方法を判断し、実践できる

区分	科目	時間数	目標及び内容
教育及び看護に関する科目 108時間	教育原理	6	教育の意義や基礎的な概念について学ぶ 1)教育の意義、目的 2)教育活動の特性 3)その他
	教育心理	18	人間の発達と教育課程における心理的な特徴について青年期を中心として理解する 実習指導者として看護学生と学生を取り巻く人的環境を調整する能力を養う 1)発達心理 2)青年心理 3)学習過程における心理 4)看護学生の理解 5)現代若者の特徴 6)人間関係論(コーチング、ケアリング、コンサルテーション)
	教育方法	14 16	教育の基本的な方法や技術についての理解を深める 1)授業の形態 2)授業の方法 3)教育方法と教材の活用 4)指導の基本的考え方 5)グループダイナミクス理論 6)カンファレンス指導方法(ファシリテーション)
	教育評価	6	教育評価の意義と方法について理解する 1)教育評価の目的と特質 2)教育評価の方法と基準
	看護論	18	看護の考え方を多角的に学び看護についての視野を広げ、自己の看護を確認し、自らの言葉で説明できる 1)看護の概念 2)看護の機能と役割 3)看護理論の概要(板看が使っている理論) 4)自己の看護を明確にする
	看護教育課程	30	看護師等の教育課程についてその概要、看護過程の展開を学び実習指導につなげる 1)看護教育課程(指定規則、指導要領、手引き等) 2)教育計画とその内容 3)実習指導計画 4)看護過程(事例を含む) 5)臨地実習のねらいと方法
実習指導 90に 関する	実習指導の原理	16	実習指導の基本と実習指導者のあり方等について理解する 1)看護基礎教育を取り巻く背景を理解する 2)実習指導における学生理解と指導者の役割 3)実習指導計画・指導案の作成過程を理解する
	実習指導の評価	16	実習における評価の意義や方法を理解する 1)実習評価の意義 2)実習評価の方法
	実習指導の実際	60	実習指導の展開について理解を深め、演習等を通してその実際を学ぶ 1)実習指導案の作成 2)実習指導の展開と評価 3)領域別の実習の考え方
に程看護 関通護 す信師 の教二 科育年 目制課	看護師2年課程通信制の教育制度	4	看護師2年課程通信教育の基本的な考え方及びその特徴について理解する 1)通信制の目的・意義 2)通信制の特徴・考え方・運営の基本
	実習指導の方法と留意点	12	通信制で学ぶ学生の実習指導について事例を通じて理解する 1)実習指導の方法、考え方、留意点 2)事例(紙上学生)による実習指導演習
	学生到達度の理解	6	1)通信制で学ぶ成人学習者の理解 2)学生到達度の把握方法
その他	EBNの実践	8	根拠をもった看護が実践でき実習指導者として学生に自らの判断と根拠を説明できる力を育成する 1)文献活用術 2)看護技術論
		8	看護におけるフィジカルアセスメントを理解し、学生が臨地実習で患者の状態をアセスメントする際の指導に役立てる。
	看護倫理	4	実習指導に必要な倫理的考え方の基礎を学ぶ 1)看護倫理(患者・学生の擁護ハラスメントに対する配慮)
	医療安全	2	実習が安全に行えるよう病院・施設において整えなければいけない要件(環境要因・人の特性・システム・設備)を知る。 1)医療安全教育
		2	臨地で患者と接する学生は、感染対策を行う実行者であることを自覚し、院内感染対策の必要性を十分に理解する 2)院内感染予防教育
看護の動向	4	医療政策・医療制度改革など看護を取り巻く社会の状況を知り、IMSグループ組織人としての役割を知る 1)看護の動向 2)看護を取り巻く領域における現状と課題を理解する 3)キャリア開発	
	その他	8	開講式、閉講式、各オリエンテーション
	総計	258	

【教育目的】

看護教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるよう、また、看護師二年課程への通信制の導入に伴い、通信制の特性及び学生の特徴を理解し教育的配慮ができるように必要な知識・技術を習得させること

区分	科目	講師	時間数	目標及び内容
教育及び看護に関する科目 108時間	教育原理	国土館大学 体育学部こどもスポーツ教育学科 教授 北神 正行	6	教育の意義や基礎的な概念について学ぶ 1)教育の意義、目的 2)教育活動の特性 3)その他
	教育心理	横浜国立大学 教育人間科学部 学校教育課程 学校教育講座 教授 有元 典文	18	人間の発達と教育課程における心理的な特徴について青年期を中心として理解する 実習指導者として看護学生と学生を取り巻く人的環境を調整する能力を養う 1)発達心理 2)青年心理 3)学習過程における心理 4)看護学生の理解 5)現代若者の特徴 6)人間関係論(コーチング、ケアリング、コンサルテーション)
		国土館大学文学部 教育学科 教育学専攻 専任講師 郡司 菜津美		
	教育方法	国土館大学 体育学部こどもスポーツ教育学科 准教授 関根 明伸	14	教育の基本的な方法や技術についての理解を深める 1)授業の形態 2)授業の方法 3)教育方法と教材の活用 4)指導の基本的考え方
		昭和大学 保健医療学部 講師 大谷 佳子	16	5)グループダイナミクス理論 6)カンファレンス指導方法(ファシリテーション)
	教育評価	千葉大学大学院 看護学研究科 准教授 中山 登志子	6	教育評価の意義と方法について理解する 1)教育評価の目的と特質 2)教育評価の方法と基準
	看護論	群馬県立県民健康科学大学 看護学部 教授 山下 暢子	18	看護の考え方を多角的に学び看護についての視野を広げ、自己の看護を確認し、自らの言葉で説明できる 1)看護の概念 2)看護の機能と役割 3)看護理論の概要(板看が使っている理論) 4)自己の看護を明確にする
看護教育課程	東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科 准教授 小澤 知子	30	看護師等の教育課程についてその概要、看護過程の展開を学び実習指導につなげる 1)看護教育課程(指定規則、指導要領、手引き等) 2)教育計画とその内容 3)実習指導計画 4)看護過程(事例を含む) 5)臨地実習のねらいと方法	
実習指導 90に時間する	実習指導の原理	群馬医療福祉大学看護学部 副学部長 樋口 キエ子	16	実習指導の基本と実習指導者のあり方等について理解する 1)看護基礎教育を取り巻く背景を理解する 2)実習指導における学生理解と指導者の役割 3)実習指導計画・指導案の作成過程を理解する
	実習指導の評価	淑徳大学短期大学部 健康福祉学科 教授 長谷川 美貴子	16	実習における評価の意義や方法を理解する 1)実習評価の意義 2)実習評価の方法
	実習指導の実際	板橋中央看護専門学校 副校長 上坂 千代美 イムス横浜国際看護専門学校 副校長 灘 恵子	60	実習指導の展開について理解を深め、演習等を通してその実際を学ぶ 1)実習指導案の作成 2)実習指導の展開と評価 3)領域別の実習の考え方
看護教育 21に時間する	看護師2年課程通信制の教育制度		4	看護師2年課程通信制教育の基本的な考え方及びその特徴について理解する 1)通信制の目的・意義 2)通信制の特徴・考え方・運営の基本
	実習指導の方法と留意点	東京衛生学園専門学校 看護学 学科長補佐 秋山 千草	12	通信制で学ぶ学生の実習指導について事例を通じて理解する 1)実習指導の方法、考え方、留意点 2)事例(紙上学生)による実習指導演習
	学生到達度の理解		6	1)通信制で学ぶ成人学習者の理解 2)学生到達度の把握方法
その他 21時間	EBNの実践	放送大学大学院 文化科学研究科 生活健康科学 教授 山内 豊明	8	看護におけるフィジカルアセスメントを理解し、学生が臨地実習で患者の状態をアセスメントする際の指導に役立てる
		京都看護大学大学院 看護学研究科 高城 智圭	8	根拠をもった看護が実践でき実習指導者として学生に自らの判断と根拠を説明できる力を育成する 1)文献活用術 2)看護技術論
	看護倫理	獨協医科大学 看護学部看護学科 看護学研究科 看護管理学 教授 山口 久美子	4	実習指導に必要な倫理的考え方の基礎を学ぶ 1)看護倫理(患者・学生の擁護ハラスメントに対する配慮)
	医療安全	イムス富士見総合病院 看護部長 山口 聖子	2	実習が安全に行えるよう病院・施設において整えなければいけない要件(環境要因・人の特性・システム・設備)を知る 1)医療安全教育
		イムス板橋リハビリテーション病院 看護主任 石山 志乃	2	臨地で患者と接する学生は、感染対策を行う実行者であることを自覚し、院内感染対策の必要性を十分に理解する 2)院内感染予防教育
看護の動向	IMSグループ本部事務局看護局 看護局長 北神 洋子	4	医療政策・医療制度改革など看護を取り巻く社会の状況を知り、IMSグループ組織人としての役割を知る 1)看護の動向 2)看護を取り巻く領域における現状と課題を理解する 3)キャリア開発	
240	合計		250	

IMS実習指導者講習会 平成30年11月～平成30年12月

2018/7/31

11月	午 前		午 後		横看	板看
	9:00～10:30	10:45～12:15	13:15～14:45	15:00～16:30		
1	木		オリエンテーション・開講式		○	
2	金					
3	土					
4	日					
5	月	教育心理(有元・郡司)6/18			○	
6	火	教育心理(有元・郡司)12/18			○	
7	水					
8	木					
9	金	教育心理(有元・郡司)18/18★			○	
10	土	教育方法(関根)8/14			○	
11	日	教育方法(関根)14/14★			○	
12	月					
13	火					
14	水					
15	木	教育方法(大谷)8/16			○	
16	金	教育方法(大谷)16/16★			○	
17	土					
18	日	教育原理(北神)6/6★	医療安全2/2★		○	
19	月					
20	火	看護教育課程(小澤)8/30				
21	水					
22	木					
23	金	教育評価(中山)6/6★	医療安全感染2/2★		○	
24	土	看護論(山下)6/18			○	
25	日	看護論(山下)12/18			○	
26	月					
27	火	看護教育課程(小澤)16/30				
28	水					
29	木	実習指導の実際(上坂)4/36			○	
30	金					

12月	午 前		午 後		横看	板看
	9:00～10:30	10:45～12:15	13:15～14:45	15:00～16:30		
1	土					
2	日					
3	月					
4	火	看護教育課程(小澤)22/30			○	
5	水	看護教育課程(小澤)30/30★			○	
6	木	実習指導の実際(上坂)8/36				○
7	金					
8	土	看護論(山下)18/18★			○	
9	日	看護倫理(山口)4/4★			○	
10	月	実習指導の原理(樋口)8/16			○	
11	火	実習指導の原理(樋口)16/16★			○	
12	水	実習指導の評価(長谷川)8/16			○	
13	木	実習指導の実際(上坂)16/36				○
14	金					
15	土					
16	日	EBNの実践(高城)8/8★			○	
17	月					
18	火	実習指導の実際(上坂)24/36			○	
19	水	実習指導の評価(長谷川)16/16★			○	
20	木	実習指導の実際(灘)32/36			○	
21	金	実習指導の実際(灘)36/36★	見学実習オリエンテーション		○	
22	土					
23	日					
24	月	EBNの実践(山内)8/8★			○	
25	火					
26	水					
27	木					
28	金					
29	土					
30	日					
31	月					

★科目時間終了日

「横看」: イムス横浜国際看護専門学校

「板看」: 板橋中央看護専門学校 視聴覚室

(様式-1)

平成 年 月 日

I M S グループ  
理事長 中村 哲也 様

施設名

施設長



### I M S 実習指導者講習会の推薦について

平成30年度 I M S 実習指導者講習会受講者として、下記のとおり推薦します

記

所属		氏名	
推 薦 理 由			
<p style="text-align: right;">【推薦者】</p> <p>所属・役職: _____</p> <p>氏名: _____ 印</p>			

(様式-1)

I M S グループ  
理事長 中村 哲也 様

# 記入例

平成 年 月 日

施設名 ○○××病院

施設長 院長又は施設長のお名前を記載  
していただき捺印してください。

印

**\* 実際にご記入いただく書類は推薦書様式-1 (原本) をご使用ください**

## I M S 実習指導者講習会の推薦について

平成30年度 I M S 実習指導者講習会受講者として、下記のとおり推薦します

### 記

所属		氏名	<b>* 受講者の氏名を記載してください</b>
推 薦 理 由			
【推薦者】 所属・役職: 氏名:			<b>看護部長等の所属部署の責任者の名前を記載していただき捺印してください</b>
			印

## 平成30年度 IMS 実習指導者講習会受講申込書

施設名						
所在地	〒		写真	顔写真貼付 白黒・カラーどちらでも可 規格：枠に収まる大きさ 4cm×3cm (撮影後6ヵ月以内)		
電話	( )	—				(内線 )
配属部署						
主な診療科目						
ふりがな						
氏名				性別	男 女	
生年月日	(昭和・平成)		年	月	日 ( 歳)	
自宅住所	〒		自宅電話			
			携帯電話			
E-mail			※必ず連絡が取れるアドレスを記載ください			
専門学歴	看	学校名	( 年課程)	昭和 平成	年 月 卒業	
	助	学校名		昭和 平成	年 月 卒業	
	保	学校名		昭和 平成	年 月 卒業	
現在の職位 (該当するものに ○をつけてください)	1. スタッフ    2. 実習指導者    3. 副主任    4. 主任    5. 師長 6. その他 ( )					
指導年数	指導場所：		自 年 月 ～		[合計 年 ヶ月]	
			至 年 月			
	指導場所：		自 年 月 ～			
			至 年 月			
職歴 (休職期間を除く 実経験年数)	看護師	年	ヶ月	[合計 年 ヶ月]		
	准看護師	年	ヶ月			
	助産師	年	ヶ月			
	保健師	年	ヶ月			
講習会・研修会 受講状況 (1週間以上の研修 についてのみ記載)	研修名：	自 年 月 日			主催	
		至 年 月 日				
	研修名：	自 年 月 日			主催	
		至 年 月 日				
	研修名：	自 年 月 日			主催	
		至 年 月 日				

\*年齢・職歴・指導年数は平成30年8月1日現在で算出してください。

\*職歴は現在の職種以外（准看護師等）での経験がある場合には、その職種での経験年数も記載してください。

施設名	イムス病院		
所在地	〒174-0051 東京都板橋区小豆沢3-3-2	写真	顔写真貼付 白黒・カラーどちらでも可 規格：枠に収まる大きさ 4cm×3cm (撮影後6ヵ月以内)
電話	( 03 ) 3965 - 5944 (内線 232 )		
配属部署	看護部 8階病棟		
主な診療科目	外科、整形外科		

ふりがな	いむす たろう		
氏名	イムス 太郎	性別	男 女

生年月日	(昭和・平成) 62 年 8 月 1 日 ( 31 歳)		
------	------------------------------	--	--

自宅住所	〒174-0051 東京都板橋区小豆沢3-3-3	自宅電話	03-1234-5678
		携帯電話	080-1234-5678

E-mail	taro-ims@ims.gr.jp	※必ず連絡が取れるアドレスを記載ください
--------	--------------------	----------------------

専門学歴	看	学校名	板橋中央看護専門学校 ( 3 年課程)	昭和 平成	23 年 3 月卒業
	助	学校名		昭和 平成	年 月卒業
	保	学校名		昭和 平成	年 月卒業

現在の職位 (該当するものに ○をつけてください)	1. スタッフ	2. 実習指導者	3. 副主任	4. 主任	5. 師長
	6. その他 ( )				

指導年数	指導場所：イムス病院 自 H 25 年 4 月 ~ 至 H 26 年 3 月	[合計 1 年 月]
	指導場所： 自 年 月 ~ 至 年 月	

職歴 (休職期間を除く 実経験年数)	看護師	5 年 4 ヶ月	[合計 5 年 4 ヶ月]
	准看護師	年 月	
	助産師	年 月	
	保健師	年 月	

講習会・研修会 受講状況 (1週間以上の研修 についてのみ記載)	研修名： フィジカルアセスメントイン ストラクター育成研修	自 H25 年 4 月 1 日 至 H25 年 8 月 26 日	IMSグループ本部事務局 主催
	研修名： 教育担当者育成研修会	自 H27 年 12 月 1 日 至 H28 年 5 月 20 日	IMSグループ本部事務局 主催
	研修名：	自 年 月 日 至 年 月 日	主催

\*年齢・職歴・指導年数は平成30年8月1日現在で算出してください。

\*職歴は現在の職種以外（准看護師等）での経験がある場合には、その職種での経験年数も記載してください。



小論文

※A4 用紙に必要事項を記入の上、1 枚以内で作成、表紙は不要

下記見本参照

- ・パソコン（原則マイクロソフト社「Word」）使用
- ・A4 縦 横書き 40 字×40 行…設定してください
- ・MS 明朝 10.5 ポイント…設定してください

「ケアの現場における私のめざす指導者像」

見本

施設名

氏 名

1 行空けて本文

○○○○○○○○……

本文は 600 字～800 字程度

※受講選考の参考にさせていただきます